

## 在外研究派遣一覧

### ○2022年度

氏名(所属)	派遣先大学 在外研究先での役職	滞在期間	研究内容
山田竜作 教授(国際教養学部)	カーディフ大学 法学・政治学研究院 客員研究員	4/1～2023/3/9(予定)	キリスト教知識人グループ「ムート」における英国期カール・マンハイムの知的展開についての研究
中山賢司 准教授(教育学部)	デ・ラ・サール大学 Visiting professor	2022/5/6～2023/3/31(予定)	海洋環境保全をめぐる東アジアの下位地域協力:PNLG(PEMSEA 地方自治体ネットワーク)の事例研究
ハートムット・レンツ 教授 (国際教養学部)	ハーバード大学 Research fellow	2022/9/1～2023/8/30(予定)	How stable is Government? Institutional Accountability, and the Survival of Semi-Presidential Democracies. This large-n survival analysis empirically examines all semi-presidential democracies from 1919-2018

### ○2021年度

氏名(所属)	派遣先大学 在外研究先での役職	滞在期間	研究内容
アナ・コリ 准教授(国際教養学部)	エセックス大学 Visiting fellow	8/16～2022/7/21	Global environmentalism and Eco politics from a post-structural discourse perspective
牛田伸一 教授(教育学部)	フンボルト大学 招聘研究員	11/17～2022/3/23	・Benner: Umriss der allgemeinen Wissenschaftsdidaktikの翻訳 ・1980年代のドイツにおける保守革新対立における教育論争の研究

### ○2020年度

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い派遣実績なし

## ○2019年度

氏名(所属)	派遣先大学 在外研究先での役職	滞在期間	研究内容
野村 佐智代 准教授(経営学部)	ヨーク大学 シューリック・ビジネススクール 招聘研究員	4/22～2020/3/17	サーキュラーエコノミー時代の金融システムと企業財務
川井 秀樹 准教授(理工学部)	カリフォルニア大学アーバイン校 客員研究員	4/1～2020/2/2	大脳新皮質における学習メカニズムの解明:聴覚皮質での神経情報選択機構とコリン作動性制御の理解
リッチモンド・ストゥループ 教授(WLC)	インドネシア大学 Visiting researcher	4/1-9/20	An investigation of preservice language teacher preparation in Indonesia: Developing a model for multilingual, multicultural contexts

## ○2018年度

氏名(所属)	派遣先大学 在外研究先での役職	滞在期間	研究内容
寒河江 光徳 教授(文学部)	ニューヨーク大学 Visiting researcher	5/11～8/13	ウラジーミル・ナボコフ関連のアーカイブ調査 教育と創作の相関性を探る試み
山中 正樹 教授(文学部)	吉林大学-① 南京師範大学-② 短期専門家	8/24～10/19・11/6～11/22-① 12/20～2019/1/16・1/19～2/1・ 2/20～3/16-② 3/16～3/31-①	北東アジア文学圏構築のための基礎的研究-川端康成の(満州国)滞実態と影響、および莫言との比較研究
内山智博 講師(国際教養学部)	ドイツ フンボルト財団Fellowship ※外部資金による在外研究	3/1～2019/8/31	代数群、幾何学的不変式論、球面的建物